

退職者

こだま会報

NO.61



第 19 回 定期 総会 報告

(会報60号 2～5頁参照)

厚木で開催



神奈川県厚木合同庁舎にて 2003年 6月28日

第一九回総会は、六月二十八日(土)、神奈川県厚木合同庁舎新館四階の会議室で開かれました。

総会に先立ち、例年のとおり「相談コーナー」が一二時より開かれました。

年金相談 山口順久氏(社労士)
相続遺言・不動産取引相談

生方武羅夫氏(行政書士)

介護相談 湯川 勉氏

(ケアマネージャー)

開会 司会 叶井進一幹事

現在の出席者は六五名、委任状七三六名、会則第一二条の総会成立要件(公員総数一一六七名の三分の二)を満たし、総会の成立が確認されました。つづいて、前回の大会から今日までに物故された、別紙名簿の一三名の会員にたいし哀悼の意の黙祷をささげました。

議長に中原保彦氏を選出し、議長あいさつの後、大会書記に米山・白井氏を決めて議事に入りました。

代表幹事あいさつ(要旨)

生方武羅夫代表幹事代行

今回の総会は会員からの要望もあって、地域での開催というところで画期的な総会であります。例年同様の皆さんのご出席をいただきまして大変ありがとうございます。

昨年一〇月からは高齢者医療が改善されて、従来の定額負担から定率負担に変えられ、また高齢者医療の対象年齢も漸次引き上げとなっております。四月からはサラリーマン本人とわれわれ退職者の医療費自己負担が二割から三割に引き上げられました。

また収入面では物価スライドによる〇・九パーセントの年金切り下げがおこなわれ、昨年の年金に比べて二〜三万円の切り下げとなっております。さらに、介護保険料の引上げを行なう市町村も多々ございました。新聞報道によりますと、政府税制調査会は公的年金等控除額「現在は百四十万円」の縮小を図ろうとしております。

昨年のこだま会生活実態調査アンケートの中にも、医療と福祉制度改善に対する会員の怒りの声が多まっています。また女性会員の三割が一人暮らしとなっており、高齢社会とは女性に特別な助けが必要な社会とも言える。こだま会でもそういう地域での助け合い運動なども視野に入れて運動を進める必要があるのではないかと思っています。

戦後の地方自治の仕組みは、基礎自治体としての市町村の権限を大幅に強めるとともに、広域自治体としての県と二層制で日本の地域におけ

る民主主義を達成しようと、この制度が作られた訳であります。松沢知事は、まさに戦後五〇年以上にわたって作り上げてきた地方自治の構造を破壊しようとするもので、私は大変危惧を感じております。

こういう状況で高齢者をめぐる情勢は非常に厳しいものではありませんけれども、有権者の四分の一は高齢者であります。自分の投票権を有効に行使するならば、必ずや社会を大きく変えていく力になるだろうと思っております。

来年はこだま会創立二〇周年に当たります。この二〇周年に当たっている楽しい企画を実施し、おおいに気分をよくして新しい高齢期運動を展開していくこだま会でありたいと考えております。

来賓挨拶 (要旨)
神奈川県職労中央執行委員長

加瀬文隆氏

四月に知事が変わって、とにかく財政が大変だ、財政再建のためにはなるべく県は仕事をしないということ、県を無くしたいということですから県の役割を縮小するということです。そのことが住民や県民にとってどうなんだということが今問われていると思います。

なるべくみんなが政府・自治体の

世話にならないでやってくださいというのが今の構造改革の流れなんです。

高齢化率が25年という時点で、四分の一が65歳以上だという事です。暮らせなければ、国というのは何なんのために税金を納めているんだという事になるわけです。

そういう意味でいまの構造改革が、税制面で少子高齢化社会のために、企業の税金は負けましよう、その代わり住民税とか消費税は10パーセントにしましよう、高齢者イコールお金持ちだから年金にも課税している、こういうことが出されている。

本間に厳しい状況におかれており、皆が怒っている、ところが怒りにならないで負けて、自殺する人が多い。今3万人を越えるということが何年にもなります。

こういう社会を変えていくという私たちが庶民が手を携えて、少しでも世の中を良くするために頑張りたいと思います。

第一七回日本高齢者大会

神奈川県実行委員会事務局長

新倉昭二氏

情勢問題は何よりも皆さんが身体を通して一番よく知っているわけですね。やはりこの小泉内閣の進める

構造改革、全面的な高齢期の医療改善、これを変えない限り、高齢者の安定した生活はありません。どうかみなさんがもろもろの日常の要求を話し合い、また同時に今日の総会におきましても代表派遣のため積極的なご努力を、あるいは財政カンパの面から、あるいは話し合いの面、学習の面からいろいろお教えいただきまして、9月に浜松で行われます第17回日本全国高齢者大会の成功のためにご協力ご奮闘いただきますことをおねがいし、こだま会19回総会が成功することを祈念いたしました。いさつとさせていただきます。

来賓紹介二名

中央労働金庫横浜支店

米山企平氏

アメリカンファミリー生命保険

神奈川ユニオン畑喜代司氏

祝電一通および県職労書記でこだま会担当の中村美代子さんの紹介

議事

第一号議案 経過報告・決算報告

加藤利秋事務局長より報告

(会報の60号 2~3頁)

年々会員が増えていて、終身会員が九割、年会員は一割ほどです。

今年役員改選の総会でもありませんので、役員体制について皆さんのご意見をいただけたらと思います。

年四回の会報・アンケートの集約・要求に基づいて署名・厚生労働省交渉・相談活動など特色のある活動を

やっていますという点で自負してよいのではないかと思います。特に去年は趣味活動を広げていこうと相談会なども持たせていただきました。活動では、お世話される方が苦勞されているという状況であります。

会の運営と協力共同の取り組みは、毎週火曜日事務局長と次長の鈴木の二人のうちどちらかは必ず事務所へ出る。幹事会は隔月、会報の発送作業を午前、午後には幹事会というようになり方です。

年金・医療改善反対署名と有事法制反対署名を進め、国会に提出し、三月には物価スライドでの年金切り



下げをするなどという要請を行いました。五月の県内平和行進、九月の日本高齢者大会に取り組みました。

会計監査報告

古怒田監査から決算監査の結果、2002年度一般会計、積立会計および二〇周年記念事業積立金会計、ともに妥当に執行されたと報告された。

経過報告についての質問・意見

◇大貫さん 年金削減反対など地域の年金者組合にも入って要求の実現行動に参加している。厚木市では五百人いる。皆さんにも地域の活動に参加してほしいものです。報告を拍手で承認。

第二号議案

二〇〇三年(平成一五)年度活動

方針および予算案

鈴木三郎事務局次長より提案

(会報の60号 4〜5頁)

提案の情勢は幹事会で議論したのですが、それから二ヶ月経過しております。

その間にめまぐるしく情勢が変わりました。感染症(SARS)、りそな銀行の破産、生命保険も危ない、不況が続き、失業率も高い。六月に入って健康保険の保険金額の決定通知書が来た。見ると保険額が増えている。介護保険料も通知が来た。これがまた上がった。妻と二人で年間約

九万円を支払う。さらに年金の改定

通知書も来た。年間二六、七〇〇円の減額、妻も減らされている。さらに来年には年金制度の大改悪が予定されている。消費税を二桁に上げる話もでてくる。横浜市の敬老パスも10月から年間五千円と有料になる。

だけど、申し上げたいのは、こんなにやられればなしでよいのか。新聞によるとフランス、ドイツでも年金の改悪が進められているが、日本と違うのはフランスの年金者は六月一〇日パリを中心にして一五〇万人のデモ、ね、あきらめてはいけな

い。あきらめたら首をくくって死ななくてはならなくなる。頑張らないといけないということを申し上げたい。

質疑応答

大貫さん 二〇周年記念事業の金額は本体のみのものか、行動費などはどちらの会計から出すのですか。

加藤事務局長 記念事業費は本体に当てたい。本年度内の準備のための行動費については一般会計から支出を考えています。

米山氏 二〇周年の記念事業にパソコンを事務局に購入し、ホームページを開いて、電子メールで会員の声を聞いたかどうか。またメールマガジンを作ってCD版を発行したかどうか。加藤事務局長 提案を受け止め検討

したい。

千鳥氏 情勢の補足ということ発言します。私は今、八八歳の母を介護しています。典型的な老老介護です。病院のデイケアにお世話になって

いる。これまでは月に何回通っても二、六五〇円だったが、医療費が一割負担になって、リハビリ中心で

月3回の費用負担が一万円、以前より4倍に上がった。厚木市の六五才以上の人は一・二パーセント、そのうち介護認定を受けているのは一割です。介護サービス利用者は8割、支給限度基準額の5割弱しか使っていない。制度はあるが利用できない

実態は金が払えないからです。厚木では特養入所待機者が今は四〇〇人近くもいる。特養施設不足は深刻です。

ショートステイも二ヶ月前の申し込みで突発では使えず、大問題です。

2003~2004年度 こだま会役員 (役職別に50音順)

役職名	氏名
代表幹事	夫 羅 武 方 生
副代表幹事	次 弘 井 川
副代表幹事	子 武 村 木
副代表幹事	子 文 本 山
事務局次長	秋 利 藤 加
事務局次長	郎 三 木 鈴
幹事	允 一 中 秋
幹事	雄 和 宮 雨
幹事	子 通 井 新
幹事	弘 武 塚 飯
幹事	子 喜 多 貫 大
幹事	子 達 川 小
幹事	一 進 井 叶
幹事	子 律 井 白
幹事	エ シ ト 橋 高
幹事	輝 輝 原 日
幹事	勉 勉 川 湯
幹事	伊 東 山 米
幹事	子 泰 辺 渡
幹事	一 富 怒 古
幹事	子 志 木 鈴

謹んでご冥福をお祈り申しあげます

2003年6月現在 (50音順)

小川 茂様	82才	多田 幹雄様	71才
小川 勇吉郎様	77才	土屋 恭輔様	65才
神谷 富子様	85才	戸塚 学様	73才
木村 稔明様	65才	中里 延男様	62才
小梶 藤幸様	69才	森村 常夫様	69才
洲崎 淳二様	71才	山崎 文雄様	74才
竹花 茂様	71才		

施設見学に行くと要支援介護の一と五の人は受けたくないという。一は点数が少ない、五は介護に手がつか 4頁3段へつづく

社会保険事務所の窓口で「おれの年金計算間違えているんじゃないですか」と怒る人がいる。「これじゃあ生活できないじゃないか」と怒る人もいます。「だれが生活できる年金をだすといったんですか。厚生省も政府もそんなこといつてないでしょ」と職員もやりかえすのだそうです。本当に年金で生活できなくなってきました。その年金をもっと減らそうというのが政府がやるうとしている「年金改革」です。



04年 年金改革(悪)とは

山口 順久

(全日本年金者組合政策委員)

が三分の一負担し、残りの三分の二は加入者が負担する仕組みだが未加入者、滞納者、免除者が増えて来ている。二階部分の厚生・共済年金は修正積立て方式だがバランスシートが大きく狂って積立て不足金が生じている。これは賃金スライド・物価スライドはしたものの、国庫負担しないできたことが原因だ。その結果、われわれ受給者が現役世代の保険料を先食いしている結果になっている。

来年の改革は経済の変動や支え手の数の変動で自動的に年金を減らす「マクロ経済スライド」なるもの導入しようとしている。税制も公的年金者控除をなくすか縮小して実質的な年金切り下げを打ち出しています。

年金積立金を株で運用して五兆円も損を出しています。年金受給者が割ると一人あたり二十万円損したことになります。損をしたからけしからんというのではなく、大事な積立金をリスクのある株で運用しようという政府の方針がけしからんということでしょうね。年金制度は非常に長期にわたる仕組みなのに、時の政府のご都合主義で左右されてきたので、いまの年金制度は維持が困難になってきています。日本の年金制度は二階建て方式で基礎年金部分の財政は賦課方式で、年間の支払う金額(約14兆円)を政府

そこで「どうする年金生活者!」ということになる。「じつとしていようよ、もう先も短いのだから」という大方の声もありますが、全労連は短時間でも年金ストライキを方針に入れている。「たまにはババンとやらないと」いけない。ストライ

3頁からつづくからです。介護保険は一割負担となつているがタオル・パンツなど保険外費用含めると費用負担は二倍にもなります。第二号議案承認

第三号議案 役員改選について

役員推薦委員会の米山から別添の役員推薦名簿が提案され、生方代表幹事代行が、代表幹事となり、退任幹事五名(明田・小野田・亀井・上野・小山)新幹事六名(飯塚・大貫・白井・高橋・日原・湯川)、推薦名簿通り拍手で承認されました。議事の終了に続き、山口順久会員による特別講話がありました。(上掲)

閉会

山本文子副代表幹事の地域での総会の成功を共に喜び、この一年こだま会の活動の輪を上げ、また来年お会いしましょうとの閉会の言葉で終了しました。

キはできないが署名、街頭宣伝、請願行動、デモはできる。国会前座り込みなどに市従退職者会の旗は見るけど、「こだま会」の旗は見えない。ぜひ、こだま会の旗も見せてほしいと思つています。

せいかつ短信 声・声・声

総会の出欠に合わせて、みなさんから近況・提案・要望など様ざまな声が寄せられました。

仕事をしている方、地域活動や趣味を楽しんでいる方お元気で続けて下さい。反面、体の不調の方も多数おられ、健康を取戻し、またお会い出来るよう願っています。

紙面の都合上、頂いたご挨拶は省略させて頂きました。

なお、順不同、一部省略や文字訂正をしております。お許し下さい。

日々元気で、その日をやりくりしている現況です。(橋本マツ子)

退職して早六年経過しました。一病息災から多病息災で頑張っているところ。詩吟で声を出し地域の老人会でゲートボールもやり、年寄りのおつき合いをしている現況です。(浜島 正範)

三年間非常勤組合員としてお世話になり、今年度からこだま会入会です。(高橋 伸男)

昨今は妹の介護と他の用事も多くなり好きな水墨画も休みがちの日々を送っています。こだま会報がくるのがたのしみにしております。(手代木昭八)

会のことではいつもお骨折り下さって敬服しております。なかなか総会には出席できかねますのでお願ひします。年齢に見合う健康を保持しております。(杉山 久子)

三月四日胃ガンの手術をしました。お陰様で初期だったので全摘はしましたが、食事もほとんどのものは食べられるようになり仕事にも復帰いたしました。孫の成人式までは元気にいたいと思っております。(小宮福太郎)

油彩画、庭いじりしています。(倉科 隆充)

今年(平成十四年度)定年退職した者です。世間オンチですのでいろいろお教えいただきたいと思ひます。(菊池 洋子)

小生、退職後、十年目に入り、晴耕雨読又週二回、各五時間ほど無理のないバイト(小遣い稼ぎ)しております。(荒川 克彦)

生まれ育った信州佐久の田舎に引籠って早くも五年になります。最近では神奈川県に出向く機会も年々少なくなつてまいりました。何処で生活しようとも神奈川県との係わりは終生変わることはないと思ひついでいます。(大井 昭夫)

胃ガン手術後、三年経過、それなにおかげ様で過ごしております。一日一つは予定がありなんとなく暮

れておりますが、これでいいのか反省の毎日です。ともあれ、こだま会の便りは楽しみであり、また参考になり、嬉しい限りです。(吉井 進)

今年の十二月で七十才になります。週三日息子の経営する会社に(経理)手伝いに行つております。仕事に出た日はくたくたに疲れますが頑張つております。(下村 愛子)

県を短期で退職(する・してしまつた)人たちへも勧誘に力を入れてはどうか。(菊池 秀行)

無趣味のためウォーキングに精出しております。昨年は甲州街道夢ウォーキングに参加し、今年から十一年間の平成の奥の細道ウォークに参加し二千五百キロメートルの旅に出立しました。(北村 紀男)

「会員紹介」楽しみです。(草間 鐵子)

こだま会報を毎回懐かしく楽しく読ませて頂いております。(中略) 会報のご案内の「このことについて」の書き出しを拝見し、県職員当時がい出されます。私は幸い健康に恵まれ、週四日間、近くにマイカー出勤しています。でも六十五歳頃から疲れが残る休日はゆっくり休養する状態です。(増村 一夫)

今年はお会場も変わつて居ることでもあり出席したく思つておりました

が、先決の欠かせない用事があり出席できないことは実に残念に思つております。当年七十二歳お陰様で妻と二人で仲良く暮らしております。(鈴木 公彦)

家庭菜園、菊づくり、庭の手入れなどして余生を楽しんでいます。(宮本 四郎)

さがみ岳風会員とし去る五月五日全国より先生に出席を願ひ三十五周年行事を実施しました。(大貫 浩)

年を取つてからの習い事、趣味の会、などの参加。自己でボランティア団体を組織し(県生涯学習課登録会員五十余名「かながわ日中交流会」)中国との交流会などのイベントを開催、等忙しく立ちまわっております。土友会にも入っております。ゴルフと麻雀の大会には出ています。ピアノの発表会もやりました。(安達 義一)

横浜三ツ池公園で公園協会のアルバイトとして働いております。(小松 克正)

畑仕事や、盆栽などして元気で暮らしております。当年七十八才になりました。(篠崎 惣一)

今年こそ参加したかったのですが、女性労働問題研究会の総会で役員に改選される予定で、そちらに出席せざるを得ず残念です。俳句を学びた

いとは思っているのですが。(本山 文子)

満八十才になりました。今のところ元気です。会員の方々もご自愛されいつまでも元気でいて下さい。(大谷 正利)

住んでいる地域内でのグループ活動やらボランティアや日々過ごしております。年金のこと、健康のこと、会報を読んで参考にしています。(鈴木 義朗)

私は週一回ボランティアを致しております。福祉介助員 ケアグループルーパーボランティア (林 和平)

親交を深めた懇親会

総会終了後、本厚木駅近くの「鮮の庄」で懇親会が開かれました。出席者65名中54名が参加する盛況ぶり。

桑村さんの乾杯の一声で始まり、カラオケなしのお座敷パーティー、立食でない分疲れませんでした。飲みほうだいの二時間を語り合い楽しく過ごしました。ヴェトナム産の焼酎が印象に残りました。



こだま会主催の旅行会を以前は年間春秋の二回位開催していましたが(故青木武氏等の仲介)会津の五色沼への参加経験もあります。

(菅原 栄三)

退職後の勤務が五年目になり、毎日が現役の時より?忙しく働いています。休日はトライアスロンのトレーニングに、木工作業に(日曜大工)忙しく、孫の木馬が完成しないうちに孫が大きくなってしまいました。

(戸塚 忠)

平成十四年度に退職しました。組合を維持して下さっている役員の方々に頭が下がります。人数のたしになる位ですが、よろしく。

(新田 通子)

楽しいことが、あまり聞こえてこない日々ですね。ますますきびしい生活を、しいられ年金生活です。消

費税は、日常生活品には無税として行くようにガンバリましょう。

(富田 幸子)

地元の自治活動のため現職より多忙の日々を過ごしています。今回出席できませんが、会場を横浜に固定せず地域巡回の発想を採用したとすれば近くの会場に参加でき有り難いと思います。

(石川 信雄)

無病息災なんとか通しております。定期総会のほう出席したいのですが足元がおぼつかなく欠席させていただきます。

(岡本 孟)

退職して十八年、私はホントに県職だったのだろうか?忘却の彼方の出来事ようです。

(辻本 操)

「欲しがりません勝までは」に始まり「働け 働け」老年期にはいると「痛みに耐えろ」とのご宣託―政治家否政治屋には困ったものです。

(山口 勇)

おかげさまで健康です。週二回ソシアルダンスにいらっています。

(小林 敬爾)

会報いつも楽しみにしています。これらや運営がすべてボランティアでとは感謝のいたりです。

(大林恒四郎)

あまり稼ぎにはなりません。老後の楽しみは続きます。いましばらくポチポチやろう。

(小山 兼治)

畑を少し

(石橋 吉造)

セレサ川崎農協に勤めています。

(伊東 裕孝)

会への意見、県職員現職時代労働組合に関心がうすかった人にも興味を感じるこだま会でありたい。

(伊東 久)

梅雨の季節です。気分的に減入ってしましますが、自分の好きなことをして乗り切ろうと心に言い聞かせます。「楽しくすこそう」「ないなら作ろう」が私のモットーです。

(櫻井 るみ)

元気で多忙な日を送っています。退職後八・三・二年と農協にお世話になり、十三年勤めてすべて止めてから二年目になります。小学生の体験学習(相模原)の稲作りの指導などをしてのんびりとやっております。

(鶴田賀陽子)

健康に留意しながら家庭菜園に勤しんでいます。国産の魚を沢山たべましょう、お米もたんたとべませう、かしこくなるために。血のめぐりよくなるよ。

(大木 一郎)

定年後非常勤として宅地建物業務にたずさわり三年目となりました。健康に注意し、今後を豊かに過ごしたいと思っています。

(大野知多夫)

唯今労働組合の存在感が非常に弱

(滝口 敏昭)

くなっていると感じます。現役の労働組合での組合員加入も大きく減少(退職による減・職員の不採用等の原因)し仕事の忙しさは(リストラ)などもあって、役員のみならず少なく、現状は大変だと思えます。県職労(各支部)へのOBのボランティア援助へも。映画鑑賞「ミニシアター系」(後藤 貞夫) せっかく厚木で開催されるのに都合が悪く出席できず残念です。シニアのグループに入ってダンスや弓道を楽しんでいます。また夏にはスエーデンで開かれるエスペラントの世界大会に出かける予定です。

(小山武衛士)

「脚が痛くなって」最近の駅はどこでも階段を上がらないと電車に乗り降りできないしくみに作られているので、外出はつい考えちゃうんです。横須賀駅は、そんな人の為に階段が一段もない駅なんです。階段のない駅は全国で三カ所しかないそうです。

(山崎 重夫)

二病息災?ですが、この先加齢と共にどうなるか心配です。厚労省では「年金は社会保障ではない。保険だ」と云っており、今後の行先はどうなるのでしょうか。ボランティアで中学校・公民館で電子工作・尺八を教えています。

(秋中 一允)

晴耕雨読といったところですか。

だま会報を楽しみにしています。

(小山田洋志)

お陰様で今の所は元気で毎日を
送っております。(岩井 秀子)

子供たちが勤めておりますので毎
日孫の世話と、家のことで忙しく過
ごしております。会報楽しみにして
います。(小沢ミネ子)

唯今は無農薬野菜作りに努力して
おります。(金子 ナカ)

小泉首相はアメリカのブッシュの
いいなりだ。そうだ、オイラはカー
チヤンのいいなりだ。まったくだ！
まったくだ！それにしても最近は一
クサイ状態だ。景気は悪いし、人
生は暗くなつていくようだ。

(村崎 亮)

現在も大和市の財団に勤めていま
す。(鈴木 昭)

高齢社会が希望の持てる日本であ
りたいものです。将来を担う若い世
代にも夢が描ける政治政策を打ち出
せるよう、他団体と手を組んで運動
していきましょう。(山口 基子)

(田辺 恵子)

年金生活者は益々苦しくなるばか
りで六月から支給される四、五月分
は早々に減額、年間になりますと大
きな数字になってきます。国民健康

保険や固定資産税は上がる一方で納
付するのがいやになってきます。

(加藤 登喜)

軍港へ入り数機とぶ草むしる

(新井 博美)

まったくの年金生活者として三年
目に入りました。地域に根ざした暮
らしになじもうと、生涯教育関係(郷
土史講座や散策等)グループに仲間
入りでき、元気に身の丈にあった
日々の暮らしを、丁寧に過ごしてい
けるように心がけています。

(横田富久子)

お陰様で私方無事過ごしております。
平成七年六月十九日に郵送され
た厚生福利振興会からき振興会ハン
ドブック今でも継続有効なのでし
うか。(市川 忠勝)

初めてなので、是非参加したいと
思っています。が予定はあくまで予
定で、結果どうなるか、目下は参加
の意志強ですが。(吉田 綾子)

会場が遠くなつてどうしようかと
考えましたが、気分転換に出かけよ
うと思います。(櫻井よし子)

三月末旅行中に転び左頬がまだ
にはれています。転倒防止の太極拳
に通いゆつくりした運動を、月二回
これから一年間続けるつもりです。

退職しまして十五年何の会に對して
ボランティアもせず申し訳ないと

思つて居ます。(船橋 雅子)

昨年九月に二度目の胃癌の手術を
行い三分の一残っていた胃の全部
採つてしまいました。現在は散歩を
中心に、草花の手入れなど無理のな
いような日々を送っています。

(松村 邦)

体調がイマイチ思うようでなく、
苦慮しています。こんな重要な諸情
勢の中で、何とか頑張らねばとあせ
るばかりで残念でなりません。

(小野 正良)

厚木 グッドアイデア

(原口 朗郎)

現職の方達が我々の生き方を注目
し豊かな将来を期待していると思う
活力に満ちただま会に育てる役員
の責任は重い。全員がだま会に入
った意義を感じる様に充実させた
い。役員会のさらなる発展を熱望し
ます。回数も少なすぎます。財政に余
裕のある限り増やしては如何。

(叶井 進一)

高齢者の責任と役割を痛感する昨
今です。それを全うするために皆
で楽しみ元気を保ちあう会に、大切
にしたいです。(山本 文子)

(白井りつ子)

七月十五日(火)食文化を楽しむ
会に参加させて頂き。九月頃予定

の「料理教室」に参加の予定してい
ます。(稲本 春雄)

だま会の相談も、Eメールを活
用できると良いですね。

(米山 東伊)

元気で頑張っています。

(小島 信明)

夫亡き後会員の資格をいただき
色々な面で、心強く感謝申し上げま
す。今年も又皆様にお会い出来ませ
事楽しみに総会に出席致します。

(會根田知子)

十月から二月までが長い。新年号
を加え、二月を三月にしてはと思
います。(年五回)趣味の会、固定し
た感じですが。趣味を個々に楽しん
でいる会員も多いことと思います。小
生身体の運動を主体にした生活をし
ています。ジョギング・スイミン
グ・とざん&ハイク、旅行などです。

(湯川 勉)

今年三月三十一日満六十四才で無
職に……県職労の組合員ではなく、
だま会の一員としてこれからお世
話になります。(飯塚 武弘)

『だま会報』第六十号六ページ
遺言(ゆいごん・いごん)について
第四の職場(鎌倉市役所)で研修資料
として、利用させて頂きました。

(佐藤 喜治)

体調を崩しベット生活です残念。
(矢部市太郎)

スキーで毎年お世話になります。趣味のスキー旅行の現地役員としてご協力できればと思います。

(榎本 勝雄)

夫一悦が亡くなり満二年が過ぎました、お世話になりました。

早いものです。会報を供え又思い出しております。本当に健康第一お元気で活躍ください。

(斎藤 節子)

今年近くで開催されるので出席しようと思いましたが、かねてより申し込んであったバスマターの日と重なり、残念ですが、又欠席となりました。

(田中 和子)

欠席で残念、「県立西丹沢自然教室」勤務中交代など出席方法を検討したが、何れにしろ誰方かに迷惑をかけそうなので、今年も欠席します。私事ながら、昨年は、富士登山に成功するなど、老いて益々元気になるよう努力しております。

(伊藤 治)

何時も欠席で申し訳ありません。至極元気でいます。一月にフランス・イタリヤ四月に土木技術発生の地ドイツに旅し、納得して帰りました。体の動くうち、諸国を見学したいと思っています。皆様の御健斗を祈ります。

(小笠原 勇)

今年も中小企業退職金共済機構の普及員を委嘱され中小企業団体を

回っています。(神奈川担当)

(金子 信男)

私は平成十六年度まで引き続き大和市みどりのまちづくり振興財団理事長の職を引き受けることになりました。

(市川 清)

ごぶさたしています。本日の新聞で年金を10万円台にするということが出ていました。今後、老後はますます大変な時代になるようです。私は平成13年に非常勤職員として採用させてもらいましたが眼を患い退職しました。最近国家資格を取得して再就職を考えています。

(井村 友彦)

政策・財政の欠陥を高齢者への賦課で解決しようとする政府の安易な姿勢を改めさせる方策はないか、次回選挙では連合して頑張つて貰いたい。倒産した銀行に大金を出して同業界から資金を貰っている政党には腹立たしいばかりだ。

(中澤 祥浩)

「食文化」は大変興味があります。私も薬膳指導員の資格を取り、薬膳料理をたのしんでおります。

(大角 淑枝)

老人福祉施設に係わっています。介護保険制度になってから、年々財政的には厳しい状況です。

(佐藤 七夫)

退職して早い事です。四年目を迎

え新しい緑風園で新たな気持ちで頑張っております。(玉井 アツ)

動きの差が体重増となりこれ以上は？思ってみるものの、作るも、食べるも大好きで、体重減は望めそうにもありません。今年も努力して減らす3kgを目標にしたいです。

(太田美保子)

当日は千葉県市川で野球の試合があるため欠席させていただきます。

(斎藤 孝治)

年金・医療等きびしい状況ですが頑張つて下さい。(木島 良夫)

(長瀬 昇)

散歩に出掛け、パソコンを使い、毎日元気に過ごしております。

(小島 工)

もし二十周年の記念事業として『囲碁大会』をやるようなことがありましたら、ぜひ協力させていただきます。

(登 豊吉)

昭和59年の退職で自分自身はなんとか健康ですが、家内が医者通いが多くなかなか会にも出席出来ず残念に思っています。

(荻部 清)

すでに70才を越える年令になりました。現在もありがたい事に健康を保ち百貨店の「計量士」として働いています。常勤です。現職で取得した資格が役に立っています。働きな

がら旅行・ドライブ等楽しんでいきます。(白石 清)

年令並に健康で過ごしております。14年度は歴史紀行に二回参加させて頂き、鎌倉の切り通しを歩きました。引き続き参加したいと思えます。

(懸田 護)

今年四年目の非常勤として、水総研内水面試験場に世話になっております。メダカなど希少魚の世話など楽しく働いています。短歌や作詞活動にも忙しく時間がいくらあっても足りないありがたい毎日です。

(石崎 博美)

健康上ライフワークも限られ趣味の会等への参加も気持ちはゆれつつも失礼してしまいました。そのような折り県史で、生方武羅夫先生の「遺言書のつくり方」の学習会・相談会に参加出来よい勉強になりました。

(松村 久代)

退職してはや、15年が過ぎましたが、病氣らしきものは一度もなく、元気に過ごしております。

(井上 高治)

実母の介護に追われて精神的にも肉体的にも余裕がありません。長生きしてほしいと思いつつも体力がついて行かず、ついついぐちの出る毎日です。余裕が出来たら仲間に入れて頂きたいです。

(今井 洋子)

適宜にからだを動かす多くの人々

に接することを目途に短時間就労のアルバイトに励んでいます。

(大澤 常雄)

一度は総会に出席したいと願っていますのに、今年も研修日と重なってしまい、とても残念です。でも元気でフルタイムで勤務出来ていることを幸と、毎日楽しく勤めさせて頂いています。

(井上ウメ子)

医療補助がよく分かりません、三割り負担になってから?

(山田 勝平)

足の具合が悪いので今回は欠席させて頂きます。

(秋葉アイ子)

年金引き下げ、介護保険料は上がる、こんなことばかりで生活が苦しく、先が思いやられます。今後どうなるのか老人のしわよせもいい加減にしてほしいと思つてます、毎日が不安です。

(中村 みき)

当方に転居して二年経過いたしました、県退職して八年になりました。何とか元気にすごしております。

(大分県 松村美知子)

神奈川労働局の総合労働相談員として解雇問題、賃金不払い等の労働使間のトラブルに対し相談をうけ、助言をする仕事をしております。

(内藤 光夫)

富良野でのスキーよい想い出となりました。その節にはありがとうございました。6月27〜30日までサロ

マ湖一〇〇kmマラソン大会に参加致します。

(塩澤 三郎)

会社の役員をしておりますが暇をみて農園を借り、野菜作りとゴルフ、また老人会の役員をおおせつかり、毎日多忙の日を過ごしております。

(毛木 勇)

私は、平塚市上吉沢におります。農総研でOBとして元気で働いています。趣味

は、園芸とスポーツ

(テニス・ボウリング)

(市川 幸夫)

やって欲しいこと。パソコン教室初級・中級・上級に分けてホームページ作成まで。私に出来ること。キノコ狩り、又はハイキングなどでキノコの食毒鑑定又はそのアシスタントが出来ます。

(江川 公明)

近くで開催、嬉しく思います、当日は大豆の種まきを予定しております。5年目、耕すことから食卓まで労働は大変です。暮らすための仕事、庭畑、そして地域活動と追われてお



ります。(遠藤 正子)

近くに江ノ島海岸につながる引地川が流れており、その両側の公園と遊歩道を一時間から二時間散歩するのが日課です。何事にもよくよくしないように、ある程度開き直りながら負けないようにしています。出席出来なくて残念です。(小沢 房男)

(若江 久子)

私もお蔭様で毎日元気に野菜や、お花の土いじりをしています、荒れた手はまわたをさわって少しでもきれいに:と、そして週一度ポケ防止に大正琴に行き仲間と楽しく温泉に行っています。(難波 ハマ)

(坂本 孝八)

今年喜寿を迎えまして、かもめ会で記念品をいただけるのと、出席することになりました。

(川瀬寿美江)

会報を楽しみにしております。

(小林 滋樹)

今回の総会や懇親会は自宅の近くでよるこんで居りましたが当日は小生が現職の時の「OBと現職の交流会」とが重なってしまいました(これも厚木市内です)なんとまのわるいことや。

(高橋 行雄)

元気で暮らしておりますが、私事が多いので、出席できないのが残念です。

おかげさまで無事日々を過ごしております。(細江 恒明)

(清水 輝雄)

昨年秋、母の足の大腿骨骨折で家の中で車イスののっている状態です、少しずつかまひ歩きをするようになりましたが、百まで生き続けるのは大変なことなのだとつくづく思います。それでも母が前向きにいてくれているですすくわれています。また頑張つていきます。(島田多嘉子)

(児玉欣一郎)

重い荷物を背負つたためか関節痛が完治しませんが、欠席します。低金利・金融機関不安定の現在、増加する積立金の一部を県内の私鉄株を購入しては?相鉄の場合約三百万、一万株(平均株価三百円前後)で無料株主乗車券、年百枚、配当四万四五百円(税引き)で銀行より有利。検討してみても。(社員持株会並で問題ないようです)

(野尻 輝)

今年の観劇会、衛友会に併せて十一月。また改めてご連絡致しますが国立劇場の方にはお願いしておりますが、観劇会の通知・観劇券の支払い、切符の配布などどなたがやってくださるか。又お電話しますので宜しく。

(上野多恵子)

元気で、月一ゴルフ、月二映画鑑賞を楽しんでいます。

楽しい趣味の会

「三浦」の鎌倉・歴史散歩

—三崎の頼朝ゆかりの

地を訪ねて—

予報では午後から雨の6月16日(月)、午前10時すぎに京急線三崎口駅前に総勢16名(中村猪一郎講師、会員女10名、男5名)が参集した。今回は、「三浦の鎌倉」をテーマに三崎周辺の鎌倉幕府三代の足跡をめぐる。

バスで東岡に行き、先ず海南神社に。祭神は、九州から逃れ漂着した藤原すけみつ。境内には樹齢八百年のイチヨウの大木が2本ある。房総の海賊を追い払ったすけみつを敬う、海に生きる土地住民の信仰を集める三浦の総鎮守である。壁に絵図があるお堂や雄大な海の絵図などがすばらしかった。人家の路地をたどり光念寺へ。門前の赤いよだれかけをした多くの地藏が目を引く。ここからは城ヶ島大橋などが眺望でき、一休みする。寺内には、三浦七福神の一つになっているせん龍弁天が祭られている。隣接している曹洞宗の本瑞寺に移動する。頼朝の別荘で、三崎の三御所、桜の御所として知

られている。寺内には、市内最大の像、地藏菩薩が鎮座していた。急な階段を下り滝へと行く。対岸の大椿寺をめざし30分余り歩いて到着。

大椿寺は、三崎の三大御所、椿の御所。寺院の後に椿の森がびっしり覆っている。花の頃はすばらしいだろう。頼朝の室、妙悟尼の開基。(中略)

午後は、相模湾よりの歌舞島に。海ぞいの道をたどる。この辺は、



海南神社

降起海岸で岩場が荒々しい。昔は海であったが隆起した小公園である。ここから一足のところに今回最後の見所、見桃寺があった。寺の前庭に白秋の歌碑がある。「さびしさに秋成が書読みさして庭に出てたり白菊の花」白秋が大正2年、不倫の相手とひっそりと暮していた時の作。

見桃寺は三崎の三御所、桃の御所。寺院内に入り休憩と中村講師の講話を聴く。寺内の葉師如来像(藤原時代の行基作、像高124センチ)や仏像師達の作品の数々を鑑

賞する。庭も狭く、桃の木も少なく当時の面影はない。しかし、仏像は藤原時代の仏像師の心がこめられ力強さを感じた。見桃寺は、風土記によれば「寺地往古は、桃林あり鎌倉將軍しばしば遊覧の地という」とあり、当時は將軍を迎えはなやかであったという。15時に解散。(湯川 勉)

第4回文学・歴史紀行

鎌倉の切通しを歩く④

どんよりとした空模様のなか朝比奈へ向かうため、金沢街道への道を滑川に沿い歩き出した。

街道沿いに歩を進めると、白い幟のはためく杉本寺にたどり着く。行基創建(736年)の鎌倉最古の天台宗の寺院で、坂東三十三観音第一番の札所でもある。苔むした石段や寺後の木立の中には杉本城趾があり、南北朝時代に攻め込まれた時の戦死者の供養塔の数々が古い歴史を思い起こさせる。

街道をはずれ参道を進むと銅板葺の壮大な屋根が目飛び込んでくる。鎌倉五山第五位淨妙寺の本堂である。その傍らの美しいボタンの花が、当時の栄華を忍ばせているようだ。創建時には真言宗であったが、その後足利貞氏により

こだま俳壇 (7月作品)

田辺貫布枝
ほうたるの点すに影のなかりけり
時間ある限りを点す螢かな

島田たか子
長梅雨や母は唱歌をとびとびに
時を待つ袋の中の青葡萄

白石 爲康
せせらぎの音に眠れぬ夏の霧
そっと手を怖がる子供甲虫

塚本 正隆
梅雨寒や鎮くだけの病床の父
節電に扇子ゆらして稽古待つ

横川美代子
古都薄暮五輪塔守る凌霄花
灯を消して雨音静か梅雨の夜

鈴木志げ子
梅雨空に白いスカートピンク傘
丘は切り海は埋めたり日の盛り

新井 白象
打水や和紙購いて墨をする
戦友の茶毘火も青し螢の夜

小川 水草
愚知自慢昔語らじところてん
強風の青葉裏にし森動く

湯川 勉
窓越しに祇園の音偲ぶ沙羅の花
船笛のなき出航や風涼し

山本つぼみ
水の辺に日陰をもてるベンチなし

禅寺へと改宗され現在に至っている。バス停十二所の北側一帯が大慈寺の跡で大倉新御堂とも呼ばれ、「吾妻鏡」によるとこの辺りは山紫水明の地であったと言われている。

大刀洗川に沿って朝比奈峠へと進んできた。この峠は北条泰時が物資輸送・軍事目的のために朝比奈三郎に一年で作らせたと言われている。えぐり取られたような山肌が延々と両側に続き、草木が繁り深山に迷い込んでしまったような錯覚に陥ってしまう。途中の梶原の大刀洗いの水や、朝比奈の小滝が都会の喧噪を忘れさせ気持ちと和ませてくれる。江戸時代に建てられた供養塔(整備工事の犠牲者を供養する)から長年にわたる峠の重要性を垣間見ることが出来る。

帰途はバスで鎌倉駅へ。4月25日(金) 参加6名 (伊藤美智子)

杉本寺



食文化を楽しむ会

とき 7月15日(火) 11~13時半

ところ 横浜市健康福祉センター

参加者 13名(うち男性3名)

講師 上野多恵子 会員

薬膳料理―夏を健やかに過すために

夏は「心臓」に変調が起りやすい季節、人体へ負担をかけない自然界の食物を中心に、熱・温・平・涼・寒という五性の分類、薬膳が誇る素晴らしいシステムについて説明のあと三班に分かれ、それぞれ料理づくりに没頭した。

①梅味の緑豆御飯(暑さ、だるさ、湿気をとって体を爽やかにする。)

②鰻と茄子の炒めもの(滋養強壮、疲労回復、血の巡りを良くする。)

③銀耳と蟹肉の甘酢和え(体を冷し、肌を美しくする。)

④冬瓜と豚肉のスープ(体を適度に冷し、湿熱をとって、元気になる。)

⑤フルーツポンチ(ハイビスカスを中心に、バナナ・キウイフルーツなど、計9種類の材料で夏向きづくり。)

二回目の参加で、料理は、食材から始まり、煮る・揚げる・炒める・汁もの・あえものなど、皆で頭と手をつかい、できあがりには、参加者全員で共食(皆で食べ・かたらい)のすすめを実感した。(佐藤喜治)

碁好きさん この指止まれ

囲碁同好会会員大募集

こだま会員の親睦と碁力の向上を目指して、楽しく遊びませんか。これから碁を覚えたい方、大歓迎します。

日時 9月7日(日)11~15時

場所 囲碁サロン「有心」

横浜駅西口

ホテルリッチ14F

TEL 045-311-9115

会費 五〇〇円(日曜日につき5割引)

当分の間、次のメンバーが世話役です。参加を希望する方は誘い合わせて電話を下さい。

青沼慶祐 045-782-7665

登 豊吉 045-824-7155

米山東伊 046-857-9741

木村武子 045-312-5591

こだま会事務局 045-212-3179

●秋の観劇会

国立劇場一十月歌舞伎公演にご一緒しませんか、お誘いいたします。

とき 11月16日(日)11時開場

ところ 国立劇場大劇場

演目 天衣紛上野初花

出演 松本幸四郎ほか

予告!! 予告!! 予告!!

費用 七、三六〇円(一等A席 二割引)

幸四郎が河内山と直侍の二役に挑戦します。河竹黙阿弥の名作――同時解説イヤホンガイドの特別割引券がついており、分りやすく楽しめます。

申し込みは9月26日(火)までに、こだま会事務局へハガキで申し込んで下さい。

●第五回文学・歴史紀行 『太平記』の舞台を歩く

主なコース

東勝寺跡(北条一族滅亡の地)―宝戒寺(北条高時屋敷跡)―東光寺跡(鎌倉宮)―

永福寺跡(足利軍が宿坊を本陣に利用)―理智光寺跡(大塔宮護良の墓所)―釈迦堂口

切通し(中世の霧困気がよく残る切通し)―足利氏屋敷跡

日時 11月21日(金) 午前10時

場所 鎌倉駅東口集合

参加費 三〇〇円(拝観料別)

その他 弁当・飲み物を持参

雨天の場合は中止

ガイド 生方武羅夫会員

参加ご希望の方は次のいずれかにお申し込みください。

▼生方武羅夫

電話〇四五―八二三―二二六六

▼こだま会事務局(火)

電話〇四五―二二二―三二七九

●歴史教室・散策

逗子披露山から鎌倉へ

古東海道の道筋をたどって

とき 10月20日(月)

集合 JR逗子駅改札口10時

(昼食持参)

コース 逗子駅―新宿稲荷神社―

変養寺(浪子不動)―披露山公

演―庭園住宅―大崎公園(昼食)

―天照大神宮―仏乗院―須賀神

社―子の神社―小坪寺―正覚寺

―住吉城跡―和賀江島―光明寺

(内藤家の墓・歴代住職墓)

・本堂 解散予定14時30分

●こだま会俳句教室

今回は9月18日(木) 13時30分

10月23日(木) からです

申し込み、問合せは、

小川政則

(TEL042―742―2253)

または事務局へどうぞ。

●富良野スキー旅行―北海道

来年の2月初旬、三泊四日の予定
です。詳しくは左記へ問合せ下さい。

叶井進一 TEL045―803―3713

事務局 TEL045―212―3179

高齢期運動

くらしの中に憲法を开花させよう

高齢者問題山梨集会

加藤 勝利 秋

翌一九日の分科会
集会には「明るいま
ちづくり分科会」に
参加し、各地の進ん
だとりくみの経験や
教訓を学ぶことがで
きました。

六月一八―一九日、第33回関東甲
信高齢者問題山梨集会が山梨県石和
町で開かれ、参加しました。

全体集会は「高齢者は社会の宝、
すべての年齢の人びとが安心して住
める社会をつくりましょう」のメイ
ンスローガンのもとに、会場いっば
いに七百名以上の参加で活気があふ
れました。

記念講演は井上英夫金沢大学教授
が「日本国憲法と国際高齢者運動」
と題して、国連第二回世界高齢化会
議で採択された、高齢者の差別をな
くし、人権の確立をうたった「政治
宣言」と「新国際行動計画」をしっ
かり学習し、職場と地域からくらし
の中に憲法を开花させ、だれでもが
安心して住めるまちをつくりましょ
う、と提起されました。

また、当面のとりくみとして、イ
ラク特措法の廃案、老人医療費無料
制度の復活、健保本人負担を二割に
戻す。最低保障年金制度の実現など
と併せて、第一七回日本高齢者大会
の成功をめざす呼びかけを含めた
「集会アピール」が採択されました。

また、今回の集会参加の中で一八
日夜、夕食後に開かれた、大河小説
『橋のない川』をなぜ書いたか、を
語る記録映画『住井すえ・百歳の人
間宣言』からは住井さんの差別を許
さない強い意志と信念に深く感動し
ました。

第12回神奈川自治労連退職者会総会

◇とき 10月21日(火)14時

◇ところ 横浜市従会館

こだま会、横浜市従、鎌倉市職の
退職者会が集まって開かれる総会で
す。都合のつく方は参加しませんか。

また、十一月二九日(土)には、
第九回手づくり文化祭も予定してい
ます。手芸・書・絵画・踊り・カラ
オケなどで楽しく一日を過ごす文化
祭です。出品・出演できる方は、こ
だま会まで連絡ください。

第17回日本高齢者大会

◇とき 9月28日(日)～29日(月)

◇ところ 静岡県浜松市

「アクトシティ浜松」

◇参加費 三〇、〇〇〇円

小泉内閣による年金・医療・介護
などの大改悪が相次ぎ、さらに二〇
〇四年には、長期の大改悪計画が出
されようとしています。

さらに、「有事法制」を強行して、
日本を再び戦争をする国にする危険
なくわだてもすすめられています。
高齢期運動の三〇年と高齢者大会
の一六年間の活動を総括して、二一
世紀にふさわしい新しい運動の課題
を確認して、これからの運動のす
め方を決める大会です。

これまで積み上げてきた高齢者大
会らしい、講座・学習講座・シンポ
ジュウム・分科会など楽しく学び・
交流する大会です。

記念講演は「皆さんに学ぶ：一
〇〇歳まで生きる健康術」(室生昇
先生)です。

編集・発行
県職労退職者こだま会
発行人 生方武羅夫
発行日 2003. 8. 15

No.61

〒231-0023
横浜市中区山下町57-1
神奈川県職労内
TEL 045-212-3179(代表)